



MORITA GROUP

MORITA REPORT 2012

株主・投資家のみなさまへ

第80期中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで



MORITA

証券コード:6455

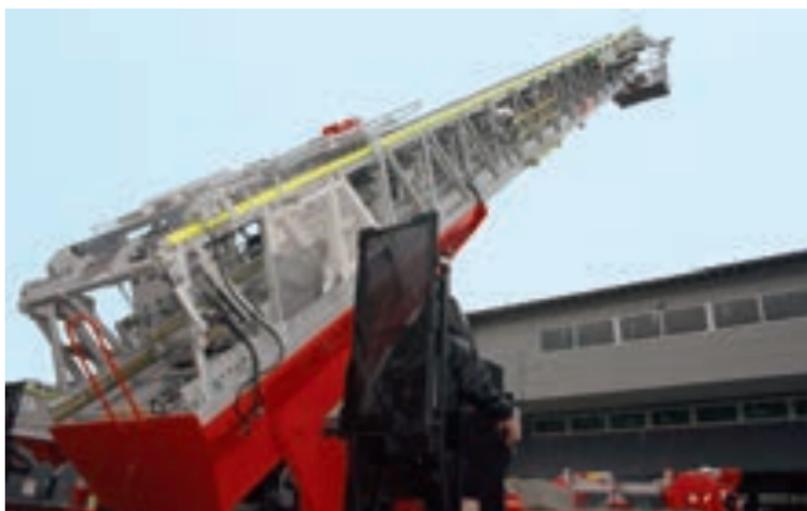
モリタトピックス

■ 日本一 54m級最新機能付はしご車 (MLL型) を開発

モリタでは常に安全で速やかな消火・救助活動を求めて技術開発を行っていますが、このたび、地上高日本一となる高さ54m級の最新機能付はしご車を開発いたしました。現在、国内で活躍しているはしご車は地上高50mが最高ですが、それをさらに4m上回り地上18階のビルまで届く高さとなりました。

はしご車には、高層ビル火災ではしご先端に装着した放水銃からの放水や、逃げ遅れた人を救助するためのバスケットが装備されています。今回開発したはしご車の特長は、これまでの50m級以上のはしご車としては初めて、はしご先端のバスケット許容積載荷重を270Kgまで実現させ、さらにはしご車の先端と地上を行き来するためのリフターを同時使用できるようにしたことあります。また、はしごの揺れを自動で抑える制振制御装置も装備し、まさに安全と速やかな消火・救助活動を求めた最新式のはしご車です。

モリタは、今後も「人と地球のいのちを守る」をスローガンに新技術の開発につとめてまいります。



■ 腰部サポートウェア「rakunie ラクニエ」を新発売

当社は、慶應義塾大学（理工学部山崎信寿教授）と医療用品メーカーのダイヤ工業(株)との産学連携により、腰部に負担のかかる作業をサポートするウェア「rakunie ラクニエ」を共同開発し、販売を開始いたしました。本商品の開発は、救急隊員が活動時に負担を感じる腰部の保護の着手から始まりましたが、今後増え続ける高年齢労働者ならびに、高齢化社会を支える介護労働者のみなさまにもお役立ていただけたらと考え、改良に改良を重ねて生まれた商品です。また、機能性をそのままデザインに活かした美しさが評価され、2012年度のグッドデザイン賞を受賞することができました。



「“^{らく}楽”に動いて、^{たの}楽しく働く」をキャッチフレーズに介護業界の展示会にも出展。医療・福祉・農業・漁業・運送業など異業種への参入商品として幅広く販売してまいります。

「rakunie ラクニエ」という名前は、着用することによって「楽に」なる「衣（え）」という意味の造語です。



 GOOD DESIGN
AWARD 2012

腰部サポートウェア

rakunie
ラクニエ

■ MIYATA “業界初のアフターケアと業界最長の保証制度付き” 最新式電動アシスト自転車を開発

ミヤタサイクルでは、低騒音・低振動・高効率・最軽量な最新の電動アシストユニット「パワークロスアシストシステム」を搭載した電動アシスト自転車「リリーアシスト」と「EXクロス・Sアシスト」の2機種を本年12月より発売いたします。

この電動アシスト自転車の開発にあたっては、DCブラシレスモーターの技術で世界シェアNo.1を誇る日本電産(株)と共同開発を行いました。また、一番の課題であったバッテリーの容量、軽量化、簡単操作を解決するとともに、ミヤタケア店の専用PCに接続することで愛車のアシストユニットとバッテリーの状況がすぐにチェックできる業界初の「スマート診断システム」を開発。電動アシスト自転車の修理には時間がかかるという常識を覆しました。

さらに業界最長の保証制度が付いているのも大きな特徴です。

走行距離も従来モデルと比べ2倍以上アップ、超軽量で容量たっぷりのバッテリーの採用、走りが軽くふらつかない前後両輪駆動、走りながら充電できる高効率な回生充電システムなど、多機能だけど簡単操作な電動アシスト自転車となっています。



リリーアシスト



EXクロス・Sアシスト

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第80期の中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の本格化、公共投資やエコカー補助金等により内需については回復の兆しが見えつつあるものの、欧州債務問題によるユーロ圏経済の低迷や、円高の長期化、中国やインドを中心とする新興国景気の下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、売上高は前年同期比3,561百万円増加し、23,923百万円（17.5%増）、営業利益は前年同期比587百万円増加し、1,134百万円（107.4%増）、経常利益は前年同期比534百万円増加し、1,155百万円（85.9%増）、四半期純利益は前年同期比296百万円増加し、559百万円（113.1%増）となり、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益において過去最高を更新いたしました。

なお、当社グループのセグメント毎の業績は次のとおりです。消防車両事業は受注が引き続き好調に推移しており、売上高は8,022百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は49百万円（前年同期比52.8%減）。防災事業は消火器の法令改正に伴う需要の増加により、売上高は8,119百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は686百万円（前年同期比67.9%増）。産業機械事業は震災復興需要に伴う売上もあった結果、売上高は2,213百万円（前年同期比24.3%増）、セグメント利益は105百万円（前年同期は24百万円の損失）。環境車両

事業は前年同期の東日本大震災による生産の混乱が解消されたことなどにより、売上高は4,351百万円（前年同期比32.0%増）、セグメント利益は261百万円（前年同期は12百万円の損失）。自転車事業は前年同期の東日本大震災の影響による特需が剥落し、市場全体が低迷していることもあり、売上高は1,217百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比88.3%減）。以上の結果となりました。

今後の見通し

以上のとおり、当第2四半期における当社グループの業績は、主に防災事業及び環境車両事業の業績が順調に推移しており、各セグメントにおいて黒字を達成したこともあって、概ね堅調に推移いたしました。引き続きわが国経済は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、今後も積極的な営業活動に努めるとともに、原価低減及び生産の効率化を促進し、収益確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

代表取締役社長 中島 正博

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	31,086	35,968	40,948
固 定 資 産	36,977	36,965	37,103
資 産 合 計	68,063	72,933	78,051
負 債 の 部			
流 動 負 債	17,245	21,991	27,263
固 定 負 債	17,527	14,648	14,571
負 債 合 計	34,773	36,639	41,834
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	34,116	36,372	36,307
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,743	3,742	3,742
利 益 剰 余 金	26,666	28,927	28,859
自 己 株 式	△1,038	△1,044	△1,040
その他の包括利益累計額	△2,029	△1,294	△1,350
その他有価証券評価差額金	△253	92	67
繰延ヘッジ損益	△19	△6	0
土地再評価差額金	△1,428	△1,066	△1,066
為替換算調整勘定	△328	△313	△351
少数株主持分	1,202	1,216	1,258
純 資 産 合 計	33,289	36,294	36,216
負 債 純 資 産 合 計	68,063	72,933	78,051

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前 期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売 上 高	20,362	23,923	63,694
売 上 原 価	14,717	17,519	47,911
売 上 総 利 益	5,645	6,404	15,783
販売費及び一般管理費	5,097	5,269	10,709
営 業 利 益	547	1,134	5,073
営 業 外 収 益	233	200	554
営 業 外 費 用	158	179	372
経 常 利 益	621	1,155	5,256
特 別 利 益	0	0	6
特 別 損 失	15	172	648
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	606	984	4,614
法 人 税 等	335	470	1,741
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	271	513	2,873
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	8	△45	69
四半期(当期)純利益	262	559	2,803

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前 期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△440	△777	5,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△1,039	△1,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79	△325	△1,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	20	△5
現金及び現金同等物の増減額	△1,601	△2,122	2,293
現金及び現金同等物の期首残高	6,373	8,667	6,373
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,771	6,545	8,667

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(平成24年9月30日現在)

■ 概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

■ グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタ防災テック	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 〔消火器を中心とした各種防災機器の販売、防災設備の設計施工並びに保守点検〕
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕
宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売〕
株式会社ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔各種自転車の開発・販売〕

株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社 ア ル ボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
上海金盾特種車輛裝備有限公司	中国上海市浦東新区書院鎮麗正路1515号
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡兩岸科技园新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	香港中環夏愨道10号和記大厦1909室

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.morita119.com/kohkoku/index.html>

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所 大阪証券取引所

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



モリタオリジナルグッズ通販サイト
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

MURITA

株式会社 モリタホールディングス

大阪本社 〒544-8585 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 ☎06-6756-0100

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。